



寒さの厳しい日が多くなってきました。

本格的な冬を迎え、咳や鼻などの風邪症状の他に、下痢や嘔吐を伴う胃腸炎などの症状でお休みしている子もいます。手洗いうやうがい・消毒での予防はもちろんのこと、体調管理に十分注意して元気に年末年始を過ごしましょう。

突然の高熱に注意!

よろん さん かん せん しやう
溶連菌感染症

突然、熱の出る、非常に感染力の強い病気で。下記の症状が見られたら、早めを受診しましょう。

症状

- 突然、熱が出て、のどがはれて痛みが出る
- 全身に発しんが出る
- 舌にイチコウ状の赤いぶつぶつが出る
- おう吐、頭痛が起こる

注意! 症状が落ち着いたからと抗生薬の服用をやめると、腎炎などになる危険が。医師の指示どおり最後まで飲みましょう。

注意! 抗生薬を飲んでから524~49時間たつまでは登園停止です。登園前に医師の診察を受けましょう。

よろん さん かん せん しやう
溶連菌感染症は 治った後も検査を受けて

溶連菌感染症は、突然の高熱、のどの真っ赤なはれ、かゆみのある発しんが全身に広がるなどの症状が出ます。抗生薬を飲めば治りますが、大切なのは、症状が治まった10日~2週間後に1回、さらに1か月後に1回、尿検査を受けること。「急性糸球体腎炎」などの合併症を起こしていないか確認するためです。忘れずを受診しましょう。

与薬について

◎薬を飲まなくてはいけない体調のお子様は、基本的には園をお休みになり、家庭で保育することが望ましいのですが、どうしても保育中に与薬が必要な場合は1回分の薬と一緒に、与薬依頼表と薬品情報説明書を保育者に手渡しで提出してください。また受診時に「朝と晩の2回にできないか」や「与薬時間をずらす(ご家庭にいる間に与薬できるようにする)ことができないか」を医師にご相談ください。

休日や急な体調不良の時どうする?

休日の体調不良や怪我をした時に「病院は診察時間外で困った」「救急車を呼ぶべきなのか、どう対応していいのかわからない」という経験はありませんか? 急な対応に慌てなくてもいいようにしておきましょう。

- ① 救急相談アプリを使う
救急受診アプリ「Q助」は、総務省消防庁が展開するアプリで、緊急度判定を支援し、住居地域や隣県の医療機関を検索できます。また、タクシーなどの受診手段の検索が可能です。
- ② 電話相談窓口にかける
#7119 (救急電話相談) #8000 (こども医療電話相談事業)
- ③ かかりつけ医に相談する
- ④ 訪問診療で診察してもらう
『みてねコールドクター』『ファストドクター』などのアプリから訪問診療が可能です。
- ⑤ 休日急病診療所の利用
事前に日曜日や祝日に診察をしている病院を把握しておくといいですね!

使い捨てカイロにも 気をつけて!

低温やけど

低温やけどに注意しましょう

低温やけどは、急激な熱さを感じにくいために、ゆっくりじっくり起こるやけどです。お風呂のお湯より少し高いくらいの温度でも、長時間触れていることで、皮膚の内部に大きなダメージが加わります。皮膚が赤くなる、水ぶくれができるなどの比較的軽い症状から、皮下組織が壊れるくらい重症のやけどになってしまう場合もあります。温度差を感じにくい高齢者や子どもに多く起こります。はれや赤み、痛みが長引くときは必ず受診しましょう。

貼るタイプのカイロ

必ず衣類の上に貼り、同じ箇所長時間当てないこと。貼ったまま寝てしまうのもNG。

くつした用のカイロ

くつしたを脱いだ状態で使ったり、体の他の部位に使うと高温になる危険性がある。

湯たんぽ、あんか

厚手のカバーに包んでも、低温やけどの危険がある。寝る前に入れて寝具を温めておき、寝るときには出しましょう。

ホットカーペット

長時間横になったり、眠ったり、座ったままの状態だと低温やけどになることも。

